

## 平成22年度 決算報告書

国立大学法人大分大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	9,677	9,676	－	
施設整備費補助金	378	645	267	(注1)
船舶建造費補助金	－	－	－	
補助金等収入	200	317	117	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	53	49	△ 4	
自己収入	17,102	18,783	1,680	
授業料、入学料及び検定料収入	3,363	3,338	△ 24	
附属病院収入	13,521	15,188	1,667	(注3)
財産処分収入	－	－	－	
雑収入	218	256	38	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,008	1,208	201	(注5)
引当金取崩	296	315	19	
長期借入金	1,267	1,266	－	
貸付回収金	－	－	－	
承継剰余金	－	－	－	
旧法人承継積立金	－	－	－	
目的積立金取崩	－	78	78	(注6)
計	29,980	32,340	2,360	
支出				
業務費	26,283	26,081	△ 201	(注7)
教育研究経費	11,951	10,684	△ 1,266	
診療経費	14,332	15,396	1,064	
施設整備費	1,698	1,578	△ 118	(注8)
船舶建造費	－	－	－	
補助金等	200	317	117	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,008	1,129	122	(注10)
貸付金	－	－	－	
長期借入金償還金	792	790	△ 1	
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	－	－	－	
計	29,980	29,897	△ 82	
収入－支出	－	2,442	2,442	

端数処理の関係で集計額は必ずしも一致しておりません。

なお、予算額は百万円未満の端数を四捨五入、決算額は百万円未満の端数を切捨し表示しております。

## ○予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備費補助金については、平成21年度補正予算による事業が平成22年度に繰り越しとなったこと及び予備費が追加で措置されたため、予算額に比して決算額が267百万円多額となっています。
- (注2) 補助金については、予算段階では予定していなかった国からの補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が117百万円多額となっています。
- (注3) 附属病院収入については、診療報酬改定に伴う改善策による増収、DPC請求額の増加、入院患者の増加等により予算額に比して決算額が1,667百万円多額となっています。
- (注4) 雑収入については、予算段階では予定していなかった工事契約解除による違約金収入及び保険金収入等のため、予算額に比して決算額が38百万円多額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究・受託事業の増加及び寄附金等の獲得に努めたため予算額に比して決算額が201百万円多額となっています。
- (注6) 目的積立金取崩については、前中期目標期間繰越積立金を工学部応用化学科棟改修工事に係る機器移設費等として使用したため、予算額に比して決算額が78百万円多額となっています。
- (注7) 業務費については、教育研究経費は退職金に係る不用額の発生及び経費節減に努めたため減となり、診療経費は(注3)に示した理由に伴う人件費・医薬品・医療材料費等の増となったため、予算額に比して決算額が201百万円少額となっています。
- (注8) (注1)に示した理由及び長期借入金で取得する設備が納入遅延により平成23年度の支出となったため、予算額に比して決算額が118百万円少額となっています。
- (注9) (注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が117百万円多額となっています。
- (注10) (注5)に示した理由により、予算額に比して決算額が122百万円多額となっています。